

2024年4月12日

公益社団法人日本広告審査機構

JARO は今年 創立 50 周年 これを機に「JARO50th プロジェクト」を 4 月から開始



公益社団法人日本広告審査機構（JARO）は 1974 年 10 月 15 日に社団法人の許可を受け、今年 10 月で 50 周年となります。これまで広告・表示の適正化に努めてまいりましたが、50 周年イヤーとなる 2024 年度はこれまでの JARO の活動を振り返るとともに、次の 50 年も JARO が社会に求められる存在であるよう、環境変化に対応しさまざまな課題に向き合って JARO の活動を進めてまいります。

そして、今年度は 50 周年事業として「JARO 50th プロジェクト」を実施いたします。事業を集約する 50 周年記念サイトは 4 月 12 日（金）オープン。記念ロゴマーク&ステートメント、SNS 用動画「広告苦情、動画にしてみた」の公開を皮切りに、設立記念日となる 10 月に向けて、記念広告、記念シンポジウム、「苦情の 50 年史」を順次アップします。

◇公開スケジュール

4 月 12 日	01 記念マーク&ステートメント 公開
	02 広告苦情、動画にしてみた 公開
6 月（予定）	03 記念広告 使用開始
8 月（予定）	04 記念シンポジウム 告知（開催は 10 月 10 日）
10 月 1 日	05 苦情の 50 年史 公開

◇5 つの記念事業

**4/12
公開**

01 記念マーク&ステートメント

JARO50th プロジェクトを記念してロゴマークとステートメントを作成しました。

《マーク》

テーマ：眼の子カラ。



中央のモチーフは、広告が企業や商品を伝え、世の中を明るく豊かにしてくれることを信じているみんなの眼です。「まぎらわしい広告」「ウソの広告」「大げさな広告」に対する多くの苦情と向き合って 50 年。情報の透明性・正確性が、より良い世の中をつくっていくことをこれからも信じていきたいという思いを込めた眼差しを手書きの力強いタッチで表現しています。

≪ステートメント≫

デジタル時代、AI 時代に向けての JARO のチャレンジの決意を表明しています。

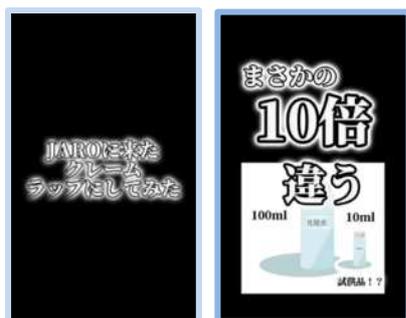
広告は変わった。JAROも変わらなきゃ。

「不正な広告をなくし、真実を伝える広告を育てよう」という理念のもと、1974年JAROは誕生しました。広告の信頼を高めていくことが、よりよい社会につながる。そう信じて、広告を見つめてきました。そして50年。今ではデジタル広告が普通のものとなり、これからはAIが広告を大きく変えていくでしょう。広告が変わり続ける時代に、JAROの眼はどう変わっていくのか？ だけど、どんな時代が来ても、信じられる広告が世の中を明るくゆたかにすることは変わらない。これからもJAROは、しっかりと広告を見つめ続けます。

4/12
公開

02 広告苦情、動画にしてみた

株式会社 Hakuhodo DY ONE の Z 世代クリエイターチーム「ハロー Z」の協力により、JARO に寄せられた Z 世代からの広告へのご意見を動画化、TikTok で投稿します。若者が寄せる「あるある！」という事例を 4 月 5 日から毎週金曜日に投稿していきます。



≪1 週目 化粧品通販の事例から≫

≪スクリプト≫

JARO に来たクレーム ラップにしてみた
 おや なんか おかしいぞ
 通販サイトでみてた商品
 なんかちょっとデカすぎん
 写真に写る商品と実際の容量が…
 え、まさかの 10 倍違う
 そりゃそうか…
 この容量でこの値段、実際そうならバグってる
 それちょっとどうなの！？
 注釈小さすぎて気づかんわ
 怖すぎるよ 騙す気満々
 おかしすぎて 直談判
 みんなもある？ モヤッと広告

6 月
予定

03 記念広告

50 周年の記念となる新聞・雑誌広告を制作し、記念マーク & ステートメントを生かし、ストレートに JARO50 周年（これまでとこれからへの宣言）を訴求します。6 月から使用開始予定です。

8 月
予定

04 記念シンポジウム 告知

「広告と消費のこれから」（仮）と題する未来を展望するシンポジウムを 10 月 10 日に開催します。その告知は 8 月にアップ予定です。

AI 研究の第一人者である松尾豊教授（東京大学大学院）の基調講演と、広告関係者によるパネルディスカッションを行う予定です。

10/1
公開

05 苦情の50年史 公開

1974年の設立から50年にわたり受け付けた広告・表示に関する苦情を、データや消費者の声を基にまとめたコンテンツです。社会・経済情勢と苦情を年度ごとに紹介します。

50周年記念サイトは4月12日オープン



≪PC版≫

<https://50th.jaro.or.jp/>



≪モバイル版≫

JAROについて

JARO（ジャロ）は1974年に設立された民間の広告自主規制機関です。「悪い広告をなくし、正しいよい広告を育てたい」という広告界の念願で、広告主、新聞社、出版社、放送会社、広告会社、広告制作会社など広告に関係する企業が自ら集い、JAROを設立しました。年間1万件弱の苦情を受け付け審査する審査活動だけでなく、広告規制情報を扱うセミナーや相談対応などの事業者支援、行政・団体などとの連携・協力など、啓発活動や協働も行っています。

≪50年の記録≫

総受付件数	苦情・照会などの総受付件数は50年間で約26万件。1974年度の54件に始まり、直近の2023年度は10,874件で、50年間の合計は259,587件
委員会等	JAROを運営または広告を審査する理事会・部会・委員会は1974年10月から2024年3月まで3,067回開催。
機関誌	月刊の会員向け機関誌『REPORTJARO』は通算590冊。1975年2月の第1号以来毎月発行し、2024年3月号で590号。これとは別に、海外の広告規制や広告表現を不定期で発行した別冊レポートは29号分。

≪組織概要≫

名称	公益社団法人日本広告審査機構 (英文名 Japan Advertising Review Organization、JARO)
住所	≪事務局≫ 東京都中央区銀座2-16-7 銀座2丁目松竹ビル ANNEX ≪関西事務所≫ 大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館
理事長	西澤 豊 (時事通信社顧問)
会員社数	2024年3月現在 887社 (広告主370社、新聞78社、放送178社、出版41社、インターネット(媒体)25社、広告会社165社、広告関連30社)
設立	社団法人許可 1974年10月15日、公益社団法人認定 2011年4月1日

以上